

会議録

起案日：令和5年12月21日

下記のとおり会議録を作成しましたので報告します。

件名	令和6年度 第2回丹波市立文化ホール事業推進会議
日時	令和5年12月20日（水） 19:30 ～ 21:00
場所	春日住民センター2階 研修室
出席者	[委員] 角 悟会長、荻野 直貴副会長、安達 三紀子委員、田邊 利典委員、 内田 順子委員、梅谷 浩子委員、中出 靖大委員、吉見 美佳委員 （※欠席：中谷委員） [事務局] まちづくり部長 福井 誠 次長兼文化・スポーツ課長 谷水 仁 文化・スポーツ課芸術文化係 主事 細見 享佑 同 主事 瀬頭 史勇
【会議要録】 1 開 会 事務局 ・事務局よりあいさつ （事務局） 本日は前回の会議の報告事項及び協議事項を諮らせていただくことになる。 市立文化ホール運営業務委託については、11月20日に契約の締結が完了し、令和6年1月からホール貸館事業及び次年度の自主事業の準備を行い、4月から本格稼働となる。今後については、ホールの利用者や市民の皆さまに対して周知を図っていくとともに、より高い専門性と柔軟性を有する法人にホール運営を委託し、安定的な運営を継続していきたいと考えているため、委員の皆さまにはご理解とご協力をお願いしたい。 ・会議の成立 （事務局） 委員9名中7名の出席により、会議成立（1名会議途中より参加） 2 あいさつ 会長 3 報告事項 以下、議事進行を会長に依頼 —傍聴者の確認— （事務局） 一般2名の申込みあり、報道機関は申込みなし —会議の公開等の確認— （会長） 丹波市立文化ホール事業推進会議に関する運営要綱第2条より、会議の公開又は全部若しくは一部の非公開について諮る。本日の議事においては、個人情報に関するものはなく、丹波市情報公開条例に規定される不開示情報はないため、公開とする。 【委員からの異論なし】 傍聴者全員の入室を認める。なお、議論の途中で個人が特定されるようなことがあれば、一時退席を願う場合もある。	

①前回会議録の確認

(事務局)

—資料により説明—

委員からの指摘事項なし。各委員の氏名を伏せた上で HP へ掲載する。

②前回会議の質疑回答に対する意見について

(事務局)

—資料により説明—

リーフレット及び前回会議の質疑回答に対する各委員からの意見について、回答及び対応等を説明。

令和 6 年度事業計画策定について、受託者である一般社団法人ネクストゼロとの協議内容を説明。

③文化ホール運營業務委託開始に伴う周知用パンフレットについて

(事務局)

—資料により説明—

製本イメージを提示し記載内容及び掲載順を説明。

②及び③について、委員からの質疑なし。

④市立文化ホール運營業務委託について

(事務局)

—資料により説明—

11 月 20 日の契約締結時点での情報を掲載し、総務文教常任委員会（12 月 18 日）で説明した内容を報告。

12 月 1 日から代表理事が荻野 直貴氏から長井 誠氏に変更していることを報告。

(委員)

ホール運營業務委託について、18 日に議会報告をしておられたが、質疑回答の答弁の内容を教えてください。

(事務局)

複数の委員から質問をいただいたため、記憶している範囲で回答させていただく。

①なぜ、一般社団法人なのか。

⇒設立までの期間や手続きの煩雑性を考慮し、一般社団法人を選択した。非営利型として利益の再分配はしない、解散後の財産は公共団体に寄付するというように定款の中で謳われたものがあるため、株式会社や営利の法人ではないということを説明させていただいた。

②令和 6 年度の 5 人体制は確保できているのか。

⇒5 人に対して、市及び法人との面談を通じて意思確認をさせていただき、法人へ加入していただく確認は取れている。

③令和 5 年度が準備期間、6 年度から本格実施という契約形態になっているが、来年度以降契約する際に同じように準備期間（契約）を設けるのか。

⇒来年度以降契約する際には、準備期間を設けることはない。

④人事について、市からのきっちりとした支援体制は構築できているのか。

⇒きっちりとした引き継ぎを行い、支援体制を構築していくため問題ない。

⑤委託料の内訳はどういったものがあるのか。

⇒人件費、公演の買取事業費、管理費（PC や複合機のリース代など）、事業費（印刷代など）

⑥今後も委託という形を継続していくのか。

⇒指定管理へ移行することを想定し、法人と協議を進めていく予定。

⑦今後事業を行っていく中で協賛金を集めたり舞台を演出したりする監督（舞台監督）は必要になるのか。

⇒市で運営している段階では協賛金を集めるということは考えていない。また、舞台監督という形ではないが、全体を統括できる人材はいる。ただし、今後法人から意見が出れば協議をしていくことになる。

（委員）

複数の議員さんから質問いただいていたが、4月からスムーズな移行ができると考えて良いか。

（事務局）

最初に質問をされた議員からは、こういった方向性になればよいと思っていたため嬉しいとの言葉をいただいております、問題ないと考えている。

（委員）

5人体制というのは、今まで所属されていた方になるのか。

（事務局）

5人のうち3人は、市の会計年度任用職員（技術員）として従事をしていただいている方で、残りの2名はボランティアスタッフ ZERO-IV（※1名は過去に所属されていた）の方が加わることになる。技術面については、5名とも確かなものであると考えている。

（委員）

春日文化ホールとライフピアいちじま大ホールで日程が重なった場合、技術スタッフの配置は現状と同じであると考えてよいのか。

（事務局）

現在においても両ホールで日程が重なった場合は、技術スタッフが分かれて舞台運営を実施することになっているが、1人や2人のスタッフで全ての業務をこなすことは難しいため、ボランティアスタッフである ZERO-IVの力を借りて両ホールのイベントが実施できるよう調整している。運営を委託した場合でも、これまで通りの対応をさせていただくことになる。ただ、貸館事業については、これまでと同様に椅子を出していただくなどのお手伝いを依頼することもあるため、ご協力いただけるとありがたい。

⑤令和5年度事業進捗状況

（事務局）

—資料により説明—

前回会議からの変更点（赤字）を中心に説明。

（委員）

毎年または2年に1回の頻度で宝くじ公演を行っているが、今年度は実施に向けて調整をされたのか。

（事務局）

何の公演を行うか、思案をしながら調べながら申請を検討していたが、申請期限までに間に合わなかったため、今年度については申請をしていない。

（委員）

課内部において宝くじ公演へ申請するという意識付けはあったのか。

（事務局）

宝くじ公演の実施にかかる申請関係書類が届いているのは認識していたが、思案する時間が長すぎたため申請が遅れたという結果になった。大変申し訳なく思っている。

（委員）

市の予算を使わずに公演の実施ができるものもあるため、来年に向けてはぜひ検討していただ

きたい。

(事務局)

今後、申請書や案内が来た際には、法人とも協議をした上で進めていきたいと考えている。

(委員)

歴史体験フェスタについては、子どもが体験できる良い機会であり、伝統文化について取り組んでいただけていることは大変ありがたく思う。

(事務局)

本事業は、文化庁の補助事業となっており、市の事業ではなく実行委員会組織が協力して進められている事業となっている。子どもを対象とした体験教室があり、現在も参加者を募集している。午前中は体験教室、午後から能の舞台公演というスケジュールとなっている。

4 協議事項

①令和6年度事業計画(案)

(事務局)

—資料により説明—

各委員からの意見をいただき、法人との協議を進める予定としている。

(委員)

大型鑑賞公演について、歌まねライブはつい最近田園交響ホールで実施しており、1年以内に同地区での実施はどうかと思う。お子さん向けにはケロポンズも良いかなと思う。

コロナが明けて色々な事業が再開してきているが、秋から冬にかけての公演が多く、夏場に公演が少ない印象がある。音楽関係や芸術関係は秋に実施することが多く、日程が重なることも少なからずある。毎年、同時期での実施となっているため、1年の間でもう少し散りばめていただくなど検討いただければと思う。

自主映画についてもアニメ系が多いため、お年寄りが楽しめる映画を実施することも検討してよいのではないか。エビスシネマと協力して実施するとか、映画関連のイベントやマルシェをホールの周りで実施するなどの工夫をされたらよいなと感じる。

(委員)

委員が仰られたように、アニメが多いため、時代に合った内容も必要かと思う。

大型鑑賞公演については、直近で田園交響ホールで実施されたものとなっているが、実際に行ってみないと良いものであるかどうか分からない。

(委員)

田園交響ホールはYouTubeチャンネルを持っており大型鑑賞公演のPRをされているように思うが、SNSを活用して文字や紙媒体だけでなく映像を使って視覚的に訴えるものがあれば良いと思う。来場者数が多ければ何でもよいということではないが、1人でも多くの方に来場いただけるよう工夫することも必要かと思う。

(事務局)

まず、コンセプトとしては、子育て世代や若い親子連れに焦点を当てた形での大型鑑賞公演となっているため、令和6年度については提示しているような公演で進めていくことになろうかと考えている。

YouTubeチャンネルについては、映像を流すと曲などの著作権にかかる許認可や著作権料等を考慮すると、即対応することは難しい部分もあるため、今後検討していきたいと考えている。

(委員)

若年層の方には人気があるのか。

(事務局)

若年層には人気があると思う。テレビでは歌まねなどの出演で大人気だとお聞きしている。

プロモーターから旬の公演を提示いただき、こちらからの要望と擦り合わせた内容を提示させ

ていただいている。

(委員)

若い人の歌まねをされているため、知らない人が行くと面白くないのではないかと感じ、集客が不安である。ネームバリューによって他市から来られる方も多いため、その点についても少し弱いのかなと感じる。

(事務局)

集客に関しては、情報発信の影響があると感じているため、市としては全面的に協力して実施していきたいと考えている。

(委員)

大型鑑賞公演の一つとして、ケロポンズが入っているのか。

(事務局)

ケロポンズは予算の状況を鑑みて、子育て世代への鑑賞公演として実施できないかと考えており、参考としてチラシを入れている。

(委員)

ケロポンズは参加型のコンサートなのでぜひ実施してほしい。

ネームバリューのことを考慮すると、若い世代から高齢者まで皆が知っているアーティストがよいが、偏りが出てくるのは仕方ないと思う。

(委員)

実施するのであれば、皆様に喜ばれる公演を実施いただきたい。

(事務局)

各委員の意見を法人へ報告し協議を進めていきたいと思う。

②市立文化ホール事業推進会議の今後の進め方について

(事務局)

—資料により説明—

【1点修正あり】

上段右 10月31日任期満了 を 9月30日任期満了に訂正
修正したものを後日送付予定。

(委員)

資料には報告事項が表立って記載されているが、会議の中身としては今後の議題を検討することがメインになると思われるため、各委員が意見を出そうができるような検討資料を作成した上で事前に送付いただき、会議の中で各意見に対して協議ができるような形での会議を行っていただきたいと思う。

令和2年2月に丹波市文化芸術推進基本計画を策定されたが、10年を目途に進めていくという計画の中で進捗状況の管理をされているのか確認させていただきたい。

(事務局)

今回の資料に関しては、事前に各委員からご意見をいただいていたため、そのご意見に対して回答させていただく形となり報告事項が多くなった。今後の会議資料については、検討しなければならない議題について、資料の協議事項に記載し進めていきたいと考えている。

計画の進捗管理については、年明けに庁内検討会議を開催するよう進めている。令和2年から現在までの状況については、各課から報告をいただいているため、2年度から5年度途中までを集約した中で計画に沿っているか、課題はないか振り返りと整理をさせていただく。課題がある場合は、推進会議の中で諮ることを考えている。

(委員)

《大型鑑賞公演について》

客席を満席にするのが大前提なのか、それとも満席にならずとも色々な方、ジャンルに来てい

ただくことが前提なのか、教えていただきたい。

(事務局)

大型鑑賞公演については、その時々で注目されている舞台芸術や舞台を活用した催物があるという流れを汲みつつ、一人でも多くの方がホールへ足を運んでいただき舞台を観ていただくという部分が大前提になるため、どのような公演であっても多くの方に観ていただきたいという想いで実施している。

(委員)

来年4月から一般社団法人ネクストゼロがホール運営委託を行うこととなったが、これまでは市と団体とが一線を引いた状態で協議が進まない状況が続いていた。しかし、今後については市と団体とが両輪となって進んでいく体制を構築いただきたい。

現在、オペレータークラブ ZERO-IVの会長及びアマチュアアーティスト育成支援事業実行委員会の副会長を兼務しているが、市はこれまで ZERO-IVの事務局を担っていたが、ZERO-IV組織内の各部のスタッフが同じ思いで活動できるよう調整いただき、ネクストゼロへのスムーズな引継ぎをお願いしたい。

5 その他

(事務局)

今回は3月の開催を予定しており、詳細日程は1か月前に調整させていただく。

6 閉 会 副会長

委員の皆さまからの意見をネクストゼロとも共有し、丹波市文化芸術推進基本計画を基に市民参画型ホールとして心を育む人づくりをお願いしたい。

委員の皆様には、ホール運営委託に関してネクストゼロへのスムーズな移行をしていきたいと考えているため、ご理解とご協力をいただきたい。

これをもちまして、令和5年度第2回丹波市立文化ホール事業推進会議を閉会します。